

# 教育相談特別研修研究報告動画

## ○内容

- ① テーマ『特別な指導を必要とする生徒に対するチーム支援システムの構築  
—実態と課題を共有する会議を通じた連携協働促進と支援シート開発の試み—』

生徒が問題行動を起こし指導を受けることは、支援につながるきっかけになると考える。よって、問題行動を現象のみではなく背景に目を向け、より効果的な指導・支援につなげるチーム支援システムの構築を目指した。具体的には、客観的証拠に基づく「特別な指導のチーム支援システム」「チーム支援シート」を作成し、学校で議論を重ねることで、実際の学校組織に沿って運用できるツールを開発した。その中で、生徒の適応的な行動改善、成長を目指すには多面的なアセスメントと生徒指導と教育相談のお互いの立場を尊重した連携協働が必要であるという認識を確認した。

- ② テーマ『心のゆとり感の効果 —「心のゆとり感」と精神的健康度との関係—』

何事にも全力で取り組むことで上手な息抜きができず、ストレス過多の状態に陥り、焦燥感や疲労感に襲われてメンタルの失調を起こしている生徒を目の当たりにする。ストレス過多の状態でも、心のゆとりがあることで、精神的な健康を維持できることを明らかにすることを目的とした。その結果、ストレスを感じていても、心のゆとり感がある生徒は、精神的な健康を維持できることが明らかになった。心のゆとりを持つことが必要な生徒と関わる教師自身も心のゆとりを持ち、学校全体で「心理教育」に力を入れることが求められる。

- ③ テーマ『高ストレス下でも適応感をもって生きる姿勢を育成するために  
—高校生のハーディネスとソーシャルサポートに注目して—』

学校への適応感を支えると考えられる個人的要因である「ハーディネス」と、環境的要因である「ソーシャルサポート」に注目し、高ストレス下でも心身の健康を保つことができる生徒を育成するための教員の働きかけについて検討した。その結果、ハーディネスは学校への適応感を高めること、教員からのソーシャルサポートはハーディネスを媒介して学校への適応感を高めることが明らかとなり、ハーディネスを高める重要性と、教員のサポートの中でも、共行動的、情緒的なサポートの重要性が示唆された。

※令和5年度教育相談特別研修における研修内容のまとめを動画で紹介します。